

原市場聖書教会

NO. 863

週 報

年間聖句

20, しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

21, キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。

ピリピ3章20～21節



2021. 10. 17

主 日 礼 拝

2021年 10月 17日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：本多志依姉
受付：本多祐子姉

祈	り		司 会 者
今 月 の 賛 美		「主はぶどうの木」	一 同
使 徒 信 条			一 同
主 の 祈 り			一 同
賛 美		聖歌244番「あらのをたびする」	一 同
献 金			一 同
感 謝 の 祈 り			本多志依姉
聖 書 朗 読		創世記24章28節～67節	司 会 者
説 教		「主の導きに従い与えられた出会い」	若村和仁師
黙 禱			一 同
賛 美		聖歌478番「すくいをなしたもう」	一 同
頌 栄		聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	一 同
祝 禱			若村和仁師
後 奏			奏 楽 者
報 告			司 会 者



●コロナウィルス感染が落ち着くまで
昼食会はお休みいたします。



「主の導きに従い与えられた出会い」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

創世記24章28節～67節

- 28, その娘は走って行って、母の家の者に、これらのことを告げた。
- 29, リベカには兄がいて、その名をラバンといった。ラバンは外へ出て、泉のそばにいるその人のもとへ走って行った。
- 30, 彼は、飾り輪と、妹の腕にある腕輪を見、また、「あの人が私にこう言われました」と言った妹リベカのことばを聞くとすぐに、その人のところに行った。すると見よ、その人は泉のそば、らくだのそばに立っていた。
- 31, そこでラバンは言った。「どうぞ、おいでください。主に祝福された方。なぜ外に立っておられるのですか。私は、お宿と、らくだのための場所を用意しております。」
- 32, それで、その人は家の中に入った。らくだの荷が解かれ、らくだに藁と飼料が与えられ、彼の足と、一緒にいた従者たちの足を洗う水も与えられた。
- 33, それから、彼の前に食事が出されたが、彼は「私の用件を話すまでは、いただきます」と言った。「お話しください」と言われて、34, 彼は言った。「私はアブラハムのしもべです。」
- 35, 主は私の主人を大いに祝福されましたので、主人は富んでおります。主は主人に、羊や牛、銀や金、男女の奴隷、らくだやろばをお与えになりました。
- 36, 私の主人の妻サラは、年をとってから主人に男の子を産み、主人はこの子に自分の全財産を譲っておられます。
- 37, 私の主人は、こう言って、私に誓わせました。『私が住んでいるこの地のカナン人の娘たちの中から、私の息子の妻を迎えてはならない。あなたは、私の父の家、私の親族のところへ行って、私の息子に妻を迎えなさい。』
- 38, 『あなたが、私の父の家、私の親族のところへ行って、私の息子に妻を迎えなさい。』
- 39, 『もしかしら、その娘さんは私について来ないかもしれません。』
- 40, 『すると主人は答えました。『私は主の前に歩んできた。その主が御使いをあなたと一緒に遣わし、あなたの旅を成功させてくださる。あなたは、私の親族、私の父の家から、私の息子に妻を迎えなさい。』』
- 41, 『次のようなときは、あなたは私との誓いから解かれる。あなたが私の親族のところに行ったときに、もし彼らがあなたに娘を与えないなら、そのとき、あなたは私との誓いから解かれる。』』
- 42, 今日、私は泉のそばに来て言いました。『私の主人アブラハムの神、主よ。私がここまで来た旅を、もしあなたが成功させてくださるのなら――』
- 43, 『ご覧ください。私は泉のそばに立っています。若い娘が水を汲みに出て来たなら、私は「あなたの水がめから少し水を飲ませてください」と言います。』
- 44, 『その人が私に、「どうぞ、お飲みください。あなたのらくだにも水を汲みましよう」と言ったなら、その娘さんこそ、主が私の主人の息子のために定められた方です。』
- 45, 『私が心の中で言い終わらないうちに、なんと、リベカさんが水がめを肩に載せて出て来たのです。そして、泉に下りて行き、水を汲みました。それで私が『どうか水を飲ませてください』と言うと、』
- 46, 『急いで水がめを肩から降ろし、『お飲みください。あなたのらくだにも水を飲ませましよう』と言われたので、私は飲みました。らくだにも水を飲ませていただきました。』
- 47, 『私が尋ねて、『あなたは、どなたの娘さんですか』と言いますと、『ミルカがナホルに産んだ子ベトエルの娘です』と答えました。そこで私は、彼女の鼻に飾り輪をつけ、彼女の腕に腕輪をはめました。』
- 48, 『そして私はひざまずき、主を礼拝し、私の主人アブラハムの神、主をほめたたえました。主は、私の主人の親族の娘さんを主人の息子に迎えるために、私を確かな道に導いてくださったのです。』
- 49, 『それで今、あなたがたが私の主人に恵みとまことを施してくださいるのなら、私にそう言ってください。もしそうでなければ、そうでないと私に言ってください。それによって、私は右か左に向かうことになります。』
- 50, 『ラバンとベトエルは答えた。「主からこのことが出たのですから、私たちはあなたに良し悪しを言うことはできません。』
- 51, 『ご覧ください。リベカはあなたの前にあります。どうぞお連れください。主が言われたとおり、あなたのご主人の息子さんの妻となりますように。』
- 52, 『アブラハムのしもべは、彼らのことばを聞くやいなや、地にひれ伏して主を礼拝した。』
- 53, 『そして、このしもべは銀や金の品物や衣装を取り出して、リベカに与えた。また、彼女の兄や母にも貴重な品々を贈った。』
- 54, 『このしもべと、ともにいた従者たちは、食べたり飲んだりして、そこに泊まった。朝になって彼らが起きると、そのしもべは「私の主人のところへ帰らせてください」と言った。』
- 55, 『彼女の兄と母は、「娘をしばらく、十日間ほど私たちのもとにとどまらせて、その後で行かせるようにしたいのですが」と言った。』
- 56, 『しもべは彼らに、「私が遅れないようにしてください。主が私の旅を成功させてくださったのですから。主人のところへ行けるように、私を帰らせてください」と言った。』
- 57, 『彼らは答えた。「娘を呼び寄せて、娘の言うことを聞いてみましょう。』
- 58, 『彼らはリベカを呼び寄せて、「この人と一緒に行くか」と尋ねた。すると彼女は「はい、行きます」と答えました。』
- 59, 『そこで彼らは、妹リベカとその乳母を、アブラハムのしもべとその従者たちと一緒に送り出した。』
- 60, 『彼らはリベカを祝福して言った。「われらの妹よ、あなたは幾千万にも増えるように。あなたの子孫は敵の門を勝ち取るように。』
- 61, 『リベカとその侍女たちは立ち上がり、らくだに乗って、その人の後について行った。こうして、しもべはリベカを連れ帰った。』
- 62, 『一方イサクは、ベエル・ラハイ・ロイ地方から帰って来ていた。彼はネグブの地に住んでいたのであった。』
- 63, 『イサクは夕暮れ近く、野に散歩に出かけた。彼が目を見てみると、ちょうど、らくだが近づいて来ていた。』
- 64, 『リベカも目を上げ、イサクを見ると、らくだから降り、』
- 65, 『しもべに尋ねた。「野を歩いて私たちを迎えに来る、あの方はどなたですか。』しもべは答えた。「あの方が私の主人です。』そこで、リベカはベールを手にとって、身をおおった。』
- 66, 『しもべは、自分がしてきたことを残らずイサクに話した。』
- 67, 『イサクは、その母サラの天幕にリベカを連れて行き、リベカを迎えて妻とし、彼女を愛した。イサクは、母の亡き後、慰めを得た。』

今月の賛美

17 主はぶどうの木

「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。」
(ヨハネ15:5)

Danny Daniels 作詞
 / Randy Rigby 作曲
 倫本伸行 訳詞

E^b Fm⁷/E^b E^b A^b

主はぶどうの木 わたしはえだです

E^b 1. Fm⁷ Fm⁷/B^b B^b 2. Fm⁷ B^b7 E^b

いたつものはなれず に - みをむすよ

E^b D^b/E^b E^b A^bmaj⁷ Fm⁷ B^b7 Gm Gm⁷

みことばに - とどまり - あい

(Fine) みことばに とどまり

Fm⁷ B^b7 E^bmaj⁷ E^b7 D^b/E^b E^b A^bmaj⁷ Fm⁷ B^b7

に - いるなら - この世は - 知るで

あい に いるなら この世は

Gm Gm⁷ E^b7/F F⁷ Fm⁷ B^b

しょう - 主のすくいといやし - 知るでしょう

D.C.

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

御言葉メール紹介

★ 2021年10月13日御言葉

ローマ人への手紙 5章2～4節

2, このキリストによって私たちは、信仰によって、今立っているこの恵みに導き入れられました。そして、神の栄光にあずかる望みを喜んでいきます。

3. それだけではなく、苦難さえも喜んでいきます。それは、苦難が忍耐を生み出し、

4, 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会より引用。

●聖書の時代旧約聖書から語られてきている律法を人々は必死に守ろうとしていました。人間が罪を罪として知り正しく生きるためにはルールが必要です。だからこそ神様がルールを与えて下さいました。それが律法です。

しかし、そのルールを100パーセント守ることができれば救いがあるとは聖書は語ってはいないのです。では律法は必要ではないか？そうではないのです。律法があるからこそ、私たちは「自分の罪を知ること」ができるのです。(ローマ3章20節：なぜなら、人はだれも、律法を行うことによって神の前に義と認められないからです。律法を通して生じるのは罪の意識です。)

ここがとても大切なのです。正しく自分を知るために律法はとても大切です。

しかし、律法が人を救うのではないということです。

律法を通して今の自分の状況を正しく診断していただき、その状況を素直に受け入れ、神様の前に「悔い改め、神様の赦しを信じ受け入れること」が人の魂の救いにつながるのです。ここがとても大切なことです。

この信仰によって、この時代のクリスチャンは望みと希望を与えられ喜びに満ちていたのです。しかしさらに続く3節では、「苦難さえも喜んでいく。」と語られています。なぜ苦難を喜ぶことができるのでしょうか？

それは、病気にたとえるならば、調子が悪い時に病院へ行き、病名を告げられる時は苦しいです。そして、その病気に対する治療も時にとつもなく苦しいです。しかし、その治療の先には、「病気が癒される」という希望があるからその治療に臨むことができるのではないのでしょうか？

ですから私たちの魂の救いも同じことが言えます。自分の示され知ることは辛く苦しいことです。しかし、現状を正しく知り癒し主である神様の前に出なければ癒されないのです。私たちは、神様によって与えられる希望を信じて、神様と共に苦難をも乗り越えていく者でありたいです。そして成長し続ける者でありたいです。

原市場聖書教会

若村和仁

報 告

★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

★原市場聖書教会での礼拝は以下の対策を継続いたします。

- 1, 体調のすぐれない方は zoom によるオンラインでの参加をご検討ください。
- 2, 会堂での礼拝参加の際は、極力間隔をあけてお座りください。
- 3, 会堂に入られる際には、マスクの着用、手の消毒をよろしくお願いします。
- 4, 当面の間、食事を伴う交わりは自粛いたします。

● 10 月以降の平日集会予定

★ 10 月よりこひつじタイムは再開予しています。

赤毛のアンは10月26日（火）より再開いたします。

● 本日も礼拝後自家焙煎コーヒーをご用意しています。

お時間のある方ご自由にお交わり下さい。

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

・10月19日～22日（火～金） あまやどり （場所：高麗聖書教会）

本日午後の予定

☆自家焙煎珈琲タイム

次週礼拝（10月24日〈日〉）

司 会：本多崇兄

聖 書：創世記25章1節～18節

説 教：「アブラハムの晩年」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：今月の賛美「主はぶどうの木」

聖歌338、聖歌590、聖歌383

受 付：本多節子姉 献金感謝祈祷：本多守兄

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
10月10日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	3人			3人
	礼 拝	3+0人	5+0人	11+3人	22(19+3)人
		(※上記「礼拝堂+オンライン」表記となります。)			
	夕 礼 拝			希望者がおられませんでした。	
10月13日(水)	祈 り 会		1人	3人	4人

集会案内

10月19日(火)	こひつじタイム	10:30～13:00
10月20日(水)	祈 り 会	10:30～12:00
10月24日(日)	ハレルヤキッズ	9:30～10:15
	礼 拝	10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

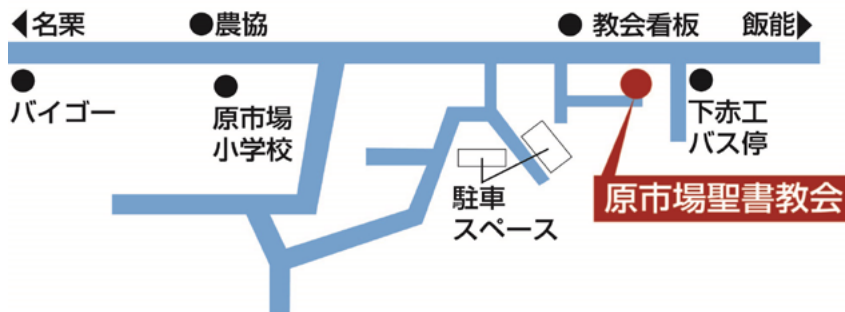
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁